

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	応用構造力学	
科目基礎情報							
科目番号	5417C03			科目区分	/ 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設システムコース			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	使用しない 必要に応じて資料を配布する/構造力学第2版 下 不静定編 (森北出版)						
担当教員	森山 卓郎						
到達目標							
1. エネルギー法により、はりのたわみやトラスの変位などを算定できる。 2. 不静定次数の低い簡単な不静定ばりの支点反力が算定できる。 3. マトリックス構造解析により、トラスの変位や部材力などを算定できる。 4. マトリックス構造解析により、はりのたわみや支点反力などを算定できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	エネルギー法により、はりのたわみやトラスの変位などを確実に算定できる。			エネルギー法により、はりのたわみやトラスの変位などがほぼ算定できる。		エネルギー法により、はりのたわみやトラスの変位などがほとんど算定できない。	
評価項目2	不静定次数の低い簡単な不静定ばりの支点反力の算定が確実にできる。			不静定次数の低い簡単な不静定ばりの支点反力の算定がほぼできる。		不静定次数の低い簡単な不静定ばりの支点反力の算定がほとんどできない。	
評価項目3	マトリックス構造解析により、不静定トラスの変位や部材力などを算定できる。			マトリックス構造解析により、静定トラスの変位や部材力などを算定できる。		マトリックス構造解析により、静定トラスの変位や部材力などがほとんど算定できない。	
評価項目4	マトリックス構造解析により、不静定ばりのたわみや支点反力などを算定できる。			マトリックス構造解析により、静定ばりのたわみや支点反力などを算定できる。		マトリックス構造解析により、静定ばりのたわみや支点反力などがほとんど算定できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	構造力学の概念は、あらゆる構造物の設計において重要である。本講義では、本科の材料力学及び構造力学の応用として、前半はエネルギー法と不静定構造を解説し、後半はマトリックス構造解析法について解説する。これらの構造力学の応用的な概念について理解を深めることを目標とする。						
授業の進め方・方法	授業では例題をできるだけ多く解説し、その復習となる演習問題を宿題として出題する予定である。 【授業時間 3 0 時間+ 自学自習時間 6 0 時間】						
注意点	力学理論を理解するためには、問題を数多く解くことが必要である。宿題として出題する演習問題は、各自十分に考えながら回答し、内容の理解を深めてほしい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	エネルギー法によるはりのたわみの算定		仕事とひずみエネルギーの概念やエネルギー保存則について理解できる。		
		2週	エネルギー法によるはりのたわみの算定		仮想仕事の原理について理解できる。		
		3週	エネルギー法によるはりのたわみの算定		単位荷重法について理解できる。		
		4週	エネルギー法によるはりのたわみの算定		カスティリアノの定理や相反定理について理解できる。		
		5週	不静定構造の解法		不静定構造の概要や簡単な不静定構造の解法について理解できる。		
		6週	不静定構造の解法		たわみ角法について理解できる。		
		7週	不静定構造の解法		3連モーメント法について理解できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	トラスのマトリックス構造解析		静定トラスの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		10週	トラスのマトリックス構造解析		静定トラスの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		11週	トラスのマトリックス構造解析		不静定トラスの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		12週	トラスのマトリックス構造解析		不静定トラスの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		13週	はりのマトリックス構造解析		はりの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		14週	はりのマトリックス構造解析		はりの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		15週	はりのマトリックス構造解析		はりの剛性方程式を解き、未知の変位や力などを算定できる。		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	0	50
専門的能力	40	0	0	0	10	0	50

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---